

平成30年度 前期選抜の選抜・評価方法

学校番号 84

千葉県立四街道北高等学校 全日制の課程 普通科

1 期待する生徒像

- ① 基本的な生活習慣が身につけており、本校を志望する動機が明確で、高校生活に夢と意欲を有する者
- ② 3年間の中学校生活を真面目に取り組み、次のア又はイのいずれかの要件を満たす者
 - ア 中学校生活全般にわたり積極的な取り組みを行い、学習成績に優れた面がある。
 - イ 中学校において部活動に積極的に参加し、本校入学後も継続して部活動に取り組む意志がある。

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 面接	評価者3名の個人面接 検査時間：5分程度 ※受検者数により評価者2名の個人面接とする。
(4) 自己表現	次のア、イいずれかを、出願時に志願者が選択。 ア. スピーチによる自己表現 日本語による自己アピール 実施形態：個人で発表 検査時間：1分 イ. 実技による自己表現 次の部活動実技のうち1つを選択 野球（男）・サッカー（男）・ソフトテニス（女）・バレーボール（女） ソフトボール（女）・バスケットボール（男女）・陸上競技（男女） 実施形態：個人で発表（ただし、団体種目は複数人数で実施するものもある） 検査時間：全体で20分（一人当たりでは5分以内）

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査〔500点満点〕

評価項目	評価基準
ア 5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。
イ 個々の教科の得点	10点未満の教科のある場合は、審議の対象とする。

(2) 調査書 アの数値に、イ～エについて加点（上限80点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	算式1で求めた数値を2倍した数値で評価する。 評定1または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	3か年皆勤は加点する。欠席の日数により加点する。 3年間の欠席日数が30日以上ある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	行動の記録の○の数及び内容により加点する。 ○の数が1個以下の場合、審議の対象とする。
エ 特別活動・部活動の記録	学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動、各種検定等の資格・表彰、その他活動で積極的に取り組んだと認められる記述については加点する。

(3) 面接〔180点満点〕

3名の評価者が、次の4つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（やや優れている）・c（標準的である）・d（やや問題がある）・e（問題がある）の5段階で評価する。

aを15点、bを13点、cを10点、dを5点、eを1点とし、3名の評価者の評価（各60点

満点)を合計し、得点化する。評価dまたは評価eが1つでもある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 服装等の身だしなみ	服装・身だしなみが適切である。
イ 質問に対する応答	質問に対して誠実かつ適切な応答である。
ウ 中学校生活の充実度	中学校生活等で、熱心に取り組んだものがある。
エ 高校生活への意欲・関心	高校生活への意欲・関心が見られる。

(4) 自己表現〔48点満点〕

次のア、イについて、それぞれ2名の評価者が、4つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき a (優れている)・b (やや優れている)・c (標準的である)・d (やや問題がある)・e (問題がある) の5段階で評価し、2名の評価者の評価の組合せ (a a～e e) ごとに得点化する。

ア スピーチによる自己表現

評価項目	評価基準
(ア) 意欲	意欲を持って取り組む姿勢が見られる。
(イ) 内容	スピーチの内容が整理されており、まとまっている。
(ウ) 姿勢・身だしなみ・態度	まじめに取り組む姿勢・身だしなみ・態度が模範的である。
(エ) 表現力	スピーチでの表現力が優れている。

イ 部活動実技による自己表現

評価項目	評価基準
(ア) 意欲	意欲を持って取り組む姿勢が見られる。
(イ) 行動	積極的かつ的確に行動できる。
(ウ) 姿勢・身だしなみ・態度	まじめに取り組む姿勢・身だしなみ・態度が模範的である。
(エ) 技術・能力	能力資質・技術に優れており活躍が期待できる。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

「学力検査の成績」、「調査書の得点」、「第2日の検査(面接・自己表現)の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、各選抜資料の評価等について慎重に審議しながら、予定人員までを入学許可候補者として内定する。

〈総得点の満点の内訳〉

学力検査 の成績	調査書の得点		第2日の検査の得点		総得点
	評定(算式1)×2	加点	面接	自己表現	
500点	$(135 + \alpha - m) \times 2$ 点	80点	180点	48点	$(1078 + 2\alpha - 2m)$ 点

(算式1) α : 県が定める評定合計の標準値95

m : 当該志願者の在籍する中学校の第3学年(義務教育学校にあつては、後期課程の第3学年)の評定の全学年の合計値の平均値

(2) その他

ア 自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはない。

イ 入学許可候補者に内定した者のうち、隣接県公立高等学校入学志願者取扱協定による内定者数が、細部協定書の示す制限比率を超えていないことを確認する。

平成30年度 後期選抜の選抜・評価方法

学校番号 84

千葉県立四街道北高等学校 全日制の課程 普通科

1 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 面接	評価者3名の個人面接 検査時間：5分程度

2 評価の項目及び評価基準

(1) 学力検査

評価項目	評価基準
ア 5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。
イ 個々の教科の得点	10点未満の教科のある場合は、審議の対象とする。

(2) 調査書

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	算式1で求めた数値で評価する。 評定1または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	3年間の欠席日数が30日以上ある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○の数が1個以下の場合は、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録、部活動の記録及び特記事項	特に顕著な内容と認められる記述がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。
オ 総合所見	特に顕著な内容と認められる記述がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。

(3) 面接

3名の評価者が、次の4つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（やや優れている）・c（標準的である）・d（やや問題がある）・e（問題がある）の5段階で評価する。

aを10点、bを8点、cを6点、dを3点、eを1点とし、3名の評価者の評価（各40点満点）を合計し、得点化したものを、総合的に判定する際の資料とする。評価dまたは評価eが1つでもある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 服装等の身だしなみ	服装・身だしなみが適切である。
イ 質問に対する応答	質問に対して誠実かつ適切な応答である。
ウ 中学校生活の充実度	中学校生活等で、熱心に取り組んだものがある。
エ 高校生活への意欲・関心	高校生活への意欲・関心が見られる。

3 選抜方法

(1) 選抜の方法

平成30年度千葉県公立高等学校入学者選抜実施要項に従い判定する。

(2) その他

- ア 自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いをしない。
- イ 入学許可候補者のうち、隣接県公立高等学校入学志願者取扱協定による候補者数が、細部協定書の示す制限比率を超えていないことを確認する。